

平成 29 年度 第 2 回港北区地域自立支援協議会 全体会議 レポート

平成 29 年 10 月 17 日 15 : 00 ~ 17 : 00
横浜市総合保健医療センター 4 階講堂にて

今年度 2 回目の全体会を開催しました！

今年度 2 回目の全体会は、事務局を含め 81 名の参加となりました。多くの方にご参加いただき、事業や職種を超えて交流できる機会となりました。

前半は、各部会から上半期の取り組みや課題、下半期に向けての活動予定の報告を行い、各部会での精力的な取り組みを全体で共有しました。今後も、本会の活動を通して地域課題を抽出していくとともに、現場の意見を行政に届けていきたいと願っています。



後半は

『障がい支援から介護保険への移行を考える～ライフステージの視点から～』

をテーマに研修会を行いました。

障がい福祉サービスを利用している障がいのある方が65歳に達し、原則介護保険に移行することにより、様々な課題が生じる『65歳問題』。障がい福祉、介護保険それぞれに携わる支援者が分野を越えて協働していくため、日頃の業務において課題だと感じることや、どのように連携できるかを、グループワークを通して話し合いました。「サービス実施の根拠となる法律や制度が違う為、双方が理解を深めて行きたい。」「事例検討を通して連携していきたい。」等、活発な意見交換がなされました。成人期から高齢期とライフステージは異なっていますが、障がい福祉、介護保険どちらも、ご本人にとって必要な支援、その人らしく地域で暮らしていけるよう考える視点は共通していることを確認できました。



全体総括では「サービスに当てはめて人生を支えるのではなく、その人がその人らしく生きていくために利用するためのサービス、という視点を大切に、改めて、今日からがスタートという気持ちで地域づくりを進めていきましょう。」とまとめ、閉会となりました。

港北区で、その人がその人らしく地域で暮らしていけるよう、今後も共に尽力していきましょう！

港北区地域自立支援協議会 事務局